

日本福祉大学 松本オフィス 松本オフィス通信

CONTENTS

- ◆長野県人会で交流を深めよう
 - 長野県人会長より— 1
- ◆2017信州+（プラス） 2
- ◆「書く力UP指導法講座」開催
- ◆社会福祉学部4専修制始動！
- ◆スポーツ科学部を新設！
- ◆長野実習報告会 3
- ◆就活相談は卒業生に！
- ◆私の仕事
 - 日福卒業生はいま—
- ◆イベント情報 4

2017年度 START! 長野県人会で交流を深めよう!



上・中:たけのこ祭り
下:歓迎会
今年のメニューは、
たこ焼き、豚汁

4月15日にはたけのこ祭り、5月12日には新入生歓迎会も行われ、先輩から学生生活のアドバイスや情報交換など学部学科、学年を超えての交流が行われました。

大学に入學して3ヶ月が過ぎ、まだ不安もあるとは思いますが、愛知県で充実した大学生活を過ごしてほしいと願っています。

これから県人会としては、レクリエーションや就職相談会等、様々な活動が計画されています。まだ県人会に入会されていない方は、ぜひこの機会に入会を。

2017年4月1日(土)、全国から学部生1,419名、編転入学生27名、大学院生98名の計1,544名の新入生が大学の門をくぐり、日福生の仲間入りをしました。そのうち長野県からは、86名(編転入含)の学生が入学し、大学生活のスタートを切りました。

日本福祉大学には、同じ都道府県出身の学生や教職員が集まり親交を深める「県人会」があります。

4月3日(月)、美浜キャンパス内で長野県人会の今年度初の顔合わせが行われ、新役員の紹介、新入生の自己紹介、年間のスケジュール確認をしましたが、入学式直後ということもあり、緊張を隠せない新入生の皆さん。



ふくしの仕事 あなたはどんな仕事をイメージしますか?

ふくしと聞いて、多くのみなさんがイメージすることは「介護」「高齢者」「障害者」。

間違いではありませんが、実はふくしはもっと幅広い分野なのです。

松本オフィス通信の18号でもご紹介した「日福と長野県」。

皆さんに、ふくしの仕事をより深く知ってもらうために、県内各地で活動している学生の情報や県内で活躍している卒業生をご紹介します。

皆さんの周りにも必ず存在している福祉(ふくし)。この機会にふくしの仕事をはじめ、身の回りにあるふくしを見つけてみてください。



ようこそ日本福祉大学へ -長野県人会長より-

長野県人会では、たけのこ祭り、一年生歓迎会(新歓)や大学祭、県人会対抗の球技大会などの活動を行っています。学部・学年問わず活動しているので、就職やサークルのことも先輩や顧問の先生に相談することができます。私自身も、県人会の活動を通じて、長野県出身の友人を作る事ができ、先輩方にもお世話になっています。

日福ならではのサークル

日本福祉大学は、スポーツ系、芸術・文科系、研究系等の部活やサークルの種類が豊富です。障がいのある子どもを支援するボランティアサークルや手話サークルなど、福祉系のサークルも多数あり、日本福祉大学ならではの活動があります。サークルは大学に入って新しいことに挑戦するきっかけになると思います。

私は大学に入ってバレーボールのサークルに入り、経験者、初心者関係なく男女でわいわい楽しんでいます。地域の大会に参加したり、サークル旅行や先輩とご飯を食べに行ったりとみんな仲良しです。



保育士になるために

私は将来地元に戻り、保育士になりたいと思っています。そのために大学では集中して講義を受けたりピアノを練習したりしています。また大学の講義以外にも、公務員の対策講座に積極的に参加して将来の自分のため頑張っています。

今後、保育士の先輩に話を聞いたり、図書館などの学校の施設を利用し、より一層学びを深めていきたいと考えています。



子ども発達学部 子ども発達学科 保育専修

3年 原 良輔
飯田高等学校出身

友人と一緒に
大学生活も3年目になりましたが、今でも大変なことは普段の生活です。大学に入って初

2017信州+ (プラス) -地域を知り、人々をつなぐ-

長野県の人口は何人？高齢化率は？ あなたはこの質問に答えることができますか？

2017年4月1日現在、長野県の人口は2,077,466人。そのうち、0-14歳は262,869人(12.7%)、15-64歳は1,170,879人(56.4%)、65歳以上は643,718人(31.0%)となります。

※出典：長野県HP 長野県の年齢別人口のお知らせより

長野県、77市町村。あなたが暮らしている市町村の人口は、何人ですか？高齢化率は何%ですか？聞かれたら答えることができますか？難しいですよ。

人口は年々減少し、少子高齢化は長野県でも確実に進んでいます。5年後、10年後の長野県はどうなっているのだろうか？みなさんが将来、ふくしの専門家として地域の病院や施設、企業で働く時に、自分の地域のことを知らないで仕事することはできません。また、保育者や教師として子どもたちの前に立つとき、子ども達を取り巻く環境や現状を知らないで指導することは困難です。

「過疎化」、「少子高齢化」、「貧困」、「いじめ」、「発達障害」など、考えなければならない課題は多数あります。

一人ひとりが自分の地域に関心を持ち、地域への働きかけを始めようとするその行動が、これからの長野県の将来にとってもふかく、ひろく関わってきます。誰もがふつうのくらしのできるしあわせの実現に向けて、一緒に問題に向き合い、共に考えていきましょう！



「あなたの学生生活に信州を+」
「信州にあなたの学生生活を+」!

経済学部の学生が辰野町で「花街道」作りに参加

2017年6月17日、18日の2日間、経済学部の学生18名が長野県辰野町で町おこし事業に協力し、同町川島地区の子どもや地域住民らと連携した活動を展開しました。

18日、辰野町市街地から川島地区へのアクセス道路「花街道」でドーム菊の植栽に参加。この植栽活動は川島地区で以前に行われ休眠していたものを、2007年に後藤順久教授の呼びかけにより再開されたものです。今年も、地元振興会や住民の方々のアドバイスを聞きながら、約100人で1600本ほどのドーム菊を植栽。ドーム菊は、11月初旬に同地区で実施される「横川峡もみじ祭」の期間中に黄色い花を咲かせます。



植栽後は、川島振興会との懇談会を行い、今年度の事業計画についても意見交換や提案がされました。今後は、花街道の看板作りや情報発信など地域づくりに参加していきます。

今までも川島地区の御柱祭りや川島小学校イベントで地域方々と交流してきた学生たち。

2日間、地域の文化や現状、課題を目の当りにした学生一人ひとりが、今後町づくりのために何ができるのか、課題解決するため今何が必要なのかを真剣に考え、これからも地域の方々と一緒になって地域づくりに取り組んでほしいと願っています。



17日、川島小の子ども達と一緒にたつのピカリ踊りに参加

2017年4月より始動！

▶TOPICS 1

社会福祉学部 4専修制の導入！

4つの専修で、専門性と多職種連携の力を養う

日本で最も長い歴史を持つ4年制の社会福祉学部が、開設60周年を機に体制を一新。行政専修、子ども専修、医療専修、人間福祉専修の4専修を導入し、卒業後の進路に応じた高い専門性を身につける教育がスタートしました。

各専修の専門性を磨くと同時に、全員が地域というフィールドに出て、さまざまな人や組織との関わりの中から学び、誰もが大切にされる社会づくりを担う人材を養成していきます。

▶TOPICS 2

スポーツ科学部を新設！

スポーツを360° 科学する

2017年開設の「スポーツ科学部」では、トレーニング科学だけでなく、教育・文化・福祉・医学・経営などあらゆる方向からスポーツを学習・研究できます。

スポーツをする人、見る人、支える人、どんな人のどんな関心まで360° 応えられる学部をめざし、スポーツ実践の現場はもちろん、産業・行政・教育などあらゆる分野で応用できる能力を、スポーツを題材とした大学教育を通じて養います。

日本福祉大学公式Facebookでは、スポーツ科学部棟の施設紹介動画が公開されていますので、ぜひ一度ご覧ください。



<https://www.facebook.com/NihonFukushiUniv>

これからの社会で求められる力を！

5月13日(土)、松本市で高校教諭、指導者を対象にした「朝日新聞社長野総局長がコソソリ教える『書く力UP指導法講座』」を開催し、県内外の高校教諭、予備校の先生方が参加されました。



第一部は、中村浩二氏(株式会社進研アド マナビジョン企画部副編集長)による「大学入試どう変わる？新テストで求められる力とは」、第二部は数塚謙一氏(朝日新聞社 長野総局長)による「書く力UP指導法講座」が行われ、参加者全員でワークをしながら文章構成や指導のポイントを考えてみました。

2020年度から導入される大学入学共通テスト(仮称)。「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、主体性、多様性、協働性」が評価の対象になってくる中、これからの社会で求められる力を、高校生の視点から物事を考える力が手に入る力、また相手の立場の主張を聞き、複数の視点から物事を考える力が、必要となってきます。

その力を引き出すためには、日頃から新聞を読んだり、ニュースを見て、身の回り起こっている現状を理解して、多くの情報を集めることができるかどうか。より多くの情報を集めることができれば、自分自身の意見がより一層説得力のある言葉に変化してきます。

まずは、心の中にある相手に伝えたい気持ちを引き出してあげ、日常的に自分の考えを言葉にし、書いたり、書いたりする環境を整えてあげることが有効な方法になるようです。

今回の講座は、高校生福祉文化賞エッセイコンテスト15回目を記念し開催しました。



就活相談は卒業生に！

2017年3月「長野実習報告会」実習を経験して大きく成長！

2017年度の就職活動が、2017年3月1日(水)より始動するにあたり、松本オフィスではキャリア開発課、長野県地域同窓会、そして長野県人会と協力し、2017年2月11日(土)に美浜キャンパス内で「Uターン就職相談会」、3月11日(土)は長野県松本市内で「同窓生による就職相談会」を開催しました。

2月11日は、Uターン就職の準備編として「Uターン就職をするにあたり事前に知っておくべきこと」や「長野県内の就職情報の集め方」などの情報交換と相談会を実施しました。

3月11日(土)は職種・分野別の相談会！

長野県で活躍する同窓生を相談員として招き、Uターン就職を希望する学生(※1)を対象に就職相談会を開催しました。今回は8分野(※2)11名の相談員にご協力いただき、25分間ずつの2部構成とし、学生が希望のブースで相談しました。短い時間ながらも、事前に相談内容をまとめてイベントに備えた学生たちにとって、大変有意義な時間となったようです。



(※1 社会福祉学部、子ども発達学部、健康科学部、経済学部の2年生3年生、計20名が参加)

(※2 MSW、PSW、公務員、高齢者、社協、障害者、サービス、保育)

2016年度は、県内各地の特別養護老人ホーム、老人デイサービスセンターなどの老人福祉施設をはじめ、障害者施設、障害児施設などの児童福祉施設等、県内9カ所で開催された社会福祉学部3年生12名が24日間の実習を行いました。

報告会では、学生一人ひとりが自分のふるさと長野のふくしと向き合い、実習を通して学んだことや実習課題の達成度、今後の課題などをグループ毎、制約



「長野実習」は2017年度も実施されます。

2017年3月11日(土)、松本市総合社会福祉センターにおいて、2016年度の社会福祉実習(長野実習)の報告会が行われました。



実習は、愛知県内で行われることが基本ですが、長野県社会福祉事業団、サン・ビジョンなどの協力を得て、2013年から長野県にUターンを希望する出身学生を中心に、長野実習を行っています。

2016年度は、県内各地の特別養護老人ホーム、老人デイサービスセンターなどの老人福祉施設をはじめ、障害者施設、障害児施設などの児童福祉施設等、県内9カ所で開催された社会福祉学部3年生12名が24日間の実習を行いました。

報告会では、学生一人ひとりが自分のふるさと長野のふくしと向き合い、実習を通して学んだことや実習課題の達成度、今後の課題などをグループ毎、制約

「長野実習」は2017年度も実施されます。

時間内に発表。報告を聞いた同窓生や実習担当者からは、「自分も以前実習を担当したが、これほどうまくできていたかな」と反省した。実習を活かして長野で活躍してほしい。「実習開始当初は本当に不安だったが、実習を通して成長したな」と思った。「などの感想が寄せられていました。

実習の経験や心に残ったことなどを自信を持って発表する姿、また、質問に礼儀正しく応える姿を見て、一人ひとりの成長を感じながらも、少子高齢化が進んでいる中、将来は長野に帰ってきて専門職として地域を支えていきたい！と力強く語ってくれた学生たちの姿はとも頼もしく感じました。

私の仕事—日福卒業生はいま—

私は2015年に日本福祉大学を卒業し、現在特別養護老人ホームしものごう敬老園で働いています。当施設は「多床室」とユニット型個室に分かれており、現在はユニット型で働いています。ユニット型は定員10名でユニットごとの居室の他、ダイニング・キッチン・浴室・トイレがあり、専任の施設スタッフが担当し、顔なじみの関係を作ることで入居者の方が、自宅のような安心感を得られる温かい環境づくりを目標として取り組んでいます。

大学では福祉を専門に学び、施設へ実習に行くなどして多職種連携や入居者・家族の視点に立ったケアについて勉強してきました。入職してからは、入居者の方やご家族の方と接していく中で、一人の生活スタイルやその方が今までのように暮らしてきたかを知り、その人に合ったケアは何なのかを自分自身で考えることができるようになりました。それまでは、教科書で読んだだけの知識であったり、多職種連携とは何なのか実感することができませんでした。仕事をしながら、看護士や相談員などとの関わりを持ち、職員間での連携が大切だと改めて実感することができました。入居者の状況は日々変化していきます。



この仕事をしていく中で嬉しいと感じたことは、その人に合ったケアを行うことで生活がより良く変わる、効果が直接に伝わってくることで、その人の昔やっていた趣味を生活に取り入れたことで、生きがいや笑顔を引き出せることです。その人に合った食事や飲み物の好みを把握し提供する事で「おいしいね」と喜ばれることが嬉しいと日々感じています。些細なことでも、そのようなことを実感できるのがこの仕事の魅力だと思います。

また日々の仕事で、入居者の方とは長い時間を共有しているため、親しくなりすぎて礼節を欠いたりしないようにする心がけや、感情的になり考え方が偏ったり、考えを押し付けたりしないよう、冷静に対応することの難しさを痛感しています。先輩方の対応を参考にしながら、適切な対応を学んでいきたいと思っています。今後も、入居者の方やご家族の方の思いに寄り添い、職員と連携しながらケアを考えていきたいです。

特別養護老人ホーム
しものごう敬老園
西村 実佳子
社会福祉学部卒
丸子修学館高校出身



EVENT

2017 オープンキャンパス

5年後・10年後 未来の自分を想像して

大学生活ってどんな感じかな？ どんな勉強をするの？
キャンパスの雰囲気は？ 大学周辺には何があるの？

今年も美浜・半田・東海の各キャンパスでオープンキャンパスが開催されています。

大学での学びが実際に体験できるように、学部学科別講義やキャンパスツアーなど、毎回様々なプログラムをご用意しています。また、大学生の先輩から一人暮らしのことやサークル、バイトのことなど直接話を聞けるチャンスでもあります。

皆さんの不安や悩みをスッキリと解決できるイベントがオープンキャンパスです。ぜひこの機会に、キャンパスの雰囲気を自分の目で確認してみてください。

また7月30日(日)は美浜キャンパスで**サークルオープンキャンパス**が開催されます。大学生ならではの、サークルも体験できますので、スポーツ推薦等を検討している方は、ぜひご参加ください。詳細につきましては、大学HPに掲載されますのでご確認ください。

	7月	8月	10月
美浜キャンパス	7/30 sun	8/19 sat	10/8 sun
半田キャンパス	7/23 sun	8/20 sun	10/22 sun
東海キャンパス	7/23 sun	8/20 sun	10/22 sun

日本福祉大学セミナー in 松本

住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを続けるために

少子高齢化が進む中、地域においては、孤立し、安心して住み続けることが困難な人が増えています。また、自治体においては、各専門分野が連携して取り組む、地域包括ケア体制の構築が進められています。しかし、今後は専門職だけでなく、住民相互の支え合いによる居住生活の支援が求められます。

この機会に、問題状況をふまえて、住民主体の居住生活支援のあり方について一緒に考えてみませんか？

講演：「地域包括ケア体制における住民全体の居住生活支援のあり方」

講師：児玉 善郎(日本福祉大学学長、教授)

◆日時：2017年10月1日(日)

◆会場：JA松本市会館

◆スケジュール

12:30～ 受付開始

13:00～14:20 文化講演会

14:30～15:30 大学説明会(大学近況・就職)

15:35～17:00 グループ相談会

◆参加を希望される方は、松本オフィスまでご連絡ください。

日本福祉大学 松本オフィス

〒390-0815

長野県松本市深志1-1-24 八紘堂ビル3階

TEL (0263) 31-9011 FAX (0263) 32-8018

E-mail e-matsumoto@ml.n-fukushi.ac.jp

OPEN 火曜～土曜 10:00～18:00 CLOSE 日曜・月曜・祝日

大学HP <http://www.n-fukushi.ac.jp/>

2018年 入学試験に向けて

AO入試対策講座開催のお知らせ

AO入学試験に向けて、入試スタッフによる対策講座を開催します。

自己アピール書、課題レポートの書類作成に関してや面接試験のポイントを昨年度事例を見ながら、わかりやすく解説をします。どんなことを書いたらいいのかよく分からない、文章を書くことが苦手という方、ぜひご参加ください。

また、対策講座終了後に個別相談会も開催します。AO入試、スポーツ分野入試等の出願要件となる「教職員との面談」にも対応しますので、お気軽にご参加ください。



◆日時：2017年8月5日(土)・9月2日(土) 14:00～

◆会場：日本福祉大学松本オフィス

※上記の日程での参加が難しい方は、個別対応しますのでご相談ください。

高校生向け進学相談会

自分にあっている入試方法は？ 学費はどのくらい？
長野県で就職できるの？

松本オフィスでは、皆さんの疑問や質問にお応えするため、個別に相談に応じています。

入学試験のことや大学生活のことなど、どんなことでも結構です。受験生に限らず、1・2年生や保護者の方からの相談も大歓迎ですので、まずは、松本オフィスまでお気軽にご相談下さい。

なお、9月は下記の進学相談会に参加します。

◆松本会場 9月5日(火) ホテルブエナビスタ

◆長野会場 9月6日(水) ホテルメトロポリタン長野

※日程や会場が変更する可能性もありますので開催日が近くなりましたら、再度大学HPで日程の確認をしてください。

※松本オフィスでも、AO入学試験やスポーツ推薦入試等の出願要件となる「本学教職員との面談」や「経済援助学費減免制度の面談」に対応しますので、ご希望の方はお申し出ください。

大学案内・過去問請求ができます！

下記のアドレスにアクセスすると、最新の大学案内や入試ガイド、過去問題を請求することができます。

資料を希望する方は専用フォームから必要事項を入力していただき、資料請求をしてください。



<http://www.n-fukushi.ac.jp/ad/request/index.html>

特設サイト につぶく茶話 を公開！

日本福祉大学と地域との関わりを紹介する、につぶく茶話。地域の方々の力を借りて、教育活動や課外活動に取り組んでいる様子を紹介しています。また、トークルームでは、美浜キャンパスに30年ほど前から棲みついている「土地神の子タヌキ」のぶく太と学生達が大学や地域について楽しくおしゃべりもしています。長野県出身学生も登場していますので、ぜひ一度ご覧ください。

<http://www.n-fukushi.ac.jp/chabana/>